



# I' ll Walk α

アイルウォークα

## 〔取扱説明書〕〔保管用〕

この取扱説明書は必ずお読みいただき、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。本製品を他の方にお譲りになる時は、必ず本書もあわせてお渡してください。

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき、十分ご理解の上ご使用ください。  
ご使用にあたっては、ケアマネージャーまたは福祉用具専門相談員にご自身の体調や状態をお知らせの上ご相談ください。

### 目次

警告事項	1	キャスターの操作方法	5
注意事項	1	腰掛け方法	5
ご使用前に	1	ハンドルの高さ調節	5
ご使用中には	2	ブレーキの調整方法	5
保管・お手入れについて	2	バッグ取り外し方法	6
廃棄について	2	傘・ステッキの固定方法	6
各部の名称	3	長く安全にご使用いただくために	6
車体の組立て(ひろげ)方	3		
車体の折りたたみ方	4		
ハンドブレーキの操作方法	4		
駐車用ストッパの操作方法	4		

この説明書に関して、ご不明な点やご質問などがございましたら、  
当社サービス係、またはご購入店までお問い合わせください。



株式会社

アイルリンク ☎ 086-805-4550

ご使用にあたって、不安のある方は出来るかぎり同伴者付き添いのもとご使用ください。また、体調の状態によっては危険な場合もありますので、ご自身でご使用できるかをご判断ください。ご自身でのご判断に不安のある方は、ケアマネージャーまたは福祉用品専門相談員にご相談ください。

事故や故障の防止のために、下記の事項を必ず守ってください。



**警告事項** 転倒など重大な事故につながる恐れがあります

- 自動車、バス、電車内、エスカレーターでは使用しないでください。
- 雨、雪、凍結など滑りやすいところでは使用しないでください。
- 交通の頻繁なところ、混雑しているところ及び夜間の使用は十分に注意してください。
- 階段や溝、極端に段差のあるところや坂道、道路などの段差のあるところでは十分に注意してください。
- 段差を乗り越える時に、車輪を持ち上げた状態で使用しないでください。
- 線路を横断する場合、段差に十分注意してください。特に警報機が鳴ったときに慌てて転倒したり、車輪が溝にはまるなど、大変危険な場合がありますので、同伴者付き添いのもと横断されることをおすすめします。
- 車体の組立ておよび調節は確実に行ってください。
- 車体が完全に組み立てられた状態である事を確認の上、ご使用ください。
- 車体を折りたたんだ状態では絶対に使用しないでください。
- 片手で押して使用しないでください。
- ハンドルの高さ調節部が固定されているかを確認してください。
- ハンドルに寄りかかったり荷物を吊るすなど、過度の荷重をかけると、車体のみ前に動き、転倒する恐れがあります。
- 踏み台として使用しないでください。
- 坂道などの斜面では座らないでください。
- 座面を使用するときは、必ず駐車用ストッパが左右の車輪にかかり、車体が動かない事を確認してください。
- 座面以外のところには座らないでください。
- 座面に浅く座らないでください。
- 座面から立ち上がるときは、車体の動かないことを確認してから、ゆっくりと行ってください。
- 幼児や子供に操作をさせないでください。また、座面上に立たせないでください。
- 幼児の手の届くところには置かないでください。
- 当社のサービス員以外の分解・改造はしないでください。



## 注意事項 思わぬケガをする恐れがあります

### ※ご使用前に

- 製品各部点検し、調整は確実に行ってください。  
(特にハンドブレーキや駐車用ストッパの性能、タイヤおよびブレーキタイヤ押さえの摩もう、押したときのグラつき)

### ※ご使用中には

- 用途以外には使用しないでください。
- 火気の近くでは使用しないでください。樹脂が変形し、性能を維持できなくなります。
- 砂、泥のあるところ、特に水たまりでは使用しないでください。また、放置しないでください。
- 最大使用者体重は 75Kg です。体重が 75Kg 以下の方に限ります。必ずお守りください。
- バッグの載荷重は 3Kg です。3Kg を超える荷物は載せないでください。
- 座面に人を乗せたままで押さないでください。
- 座面を下ろした状態で押さないでください。座面を下ろした状態は駐車用ストッパがかかっています。
- 乳幼児、動物をバッグ内に乗せないでください。
- 車体の組立て・折りたたみなどの操作時には幼児や子供を近づけないでください。
- 荷物はバッグ内の底部に収納してください。
- バッグ内に荷物を入れたままで車体の組立て・折りたたみ操作をしないでください。
- ハンドルとブレーキレバーの間に指を入れたまま操作をしないでください。
- ハンドブレーキは自動車のブレーキとは構造が違いますので、過信しないでください。
- ブレーキレバーを使用するときは左右同時に掛けてください。
- 駐車用ストッパのかかった状態で車体を押さないでください。
- 車体を折りたたむときは、手をはさまないように注意してください。
- 車体からはなれるときは、必ず駐車用ストッパを掛けてください。

### ※保管・お手入れについて

- 使用後は乾いた布で水分を取り、日陰で乾燥してください。
- バッグの汚れは、柔らかい布で拭いてください。
- 火気の近く、高温多湿の場所での保管は避けてください。
- 雨ざらしにしないでください。サビや劣化の原因となります。
- 車体が濡れたときは、乾いた布で拭き取ってください。
- シンナーやベンジンなどの揮発性溶剤で、車体・バッグなどを拭かないでください。
- フレームや車輪の砂や泥などの汚れを付けたまま放置しないでください。
- 長時間使用しない場合は、汚れを落として高温多湿の場所は避け、日陰の場所で保存してください。
- 寒暖の差が激しいところでの保管は、バッグの変色や硬化、動作不良の原因となる場合があります。
- 車輪や車体がきしむときは、連結部等に数滴注油してください。注油後、回転および車体の組立て・折りたたみ操作を 2~3 回くりかえしてください。
- 非常口や消火器の前に放置をしないでください。
- 定期的に各部の破損、ゆるみ、摩もうなどがいないかを確認し、必要に応じて調整または交換をしてください。
- 定期的に各部のカシメ鉋、ネジなどが緩んでいないかを確認してください。

### ※廃棄について

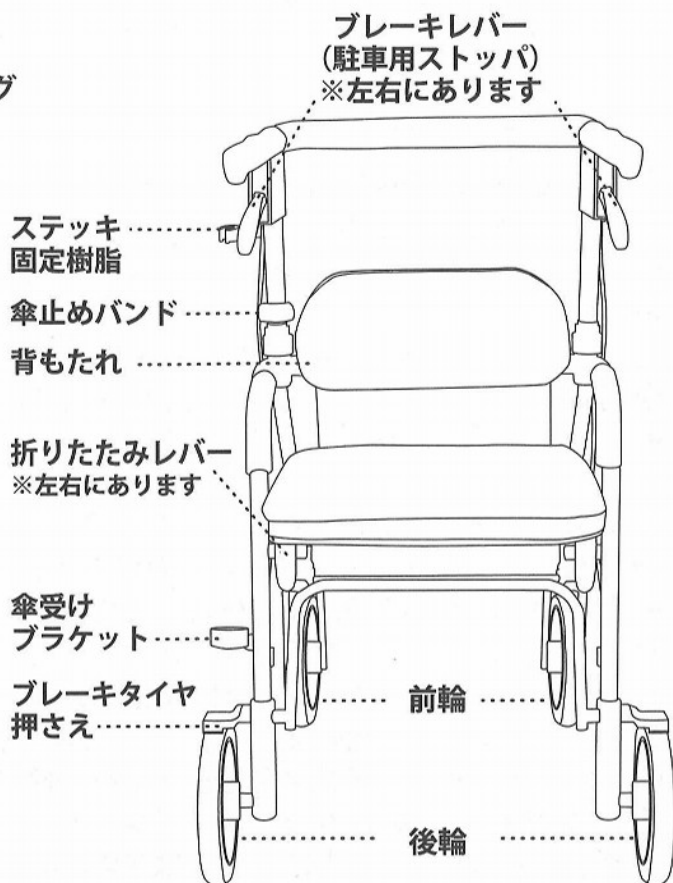
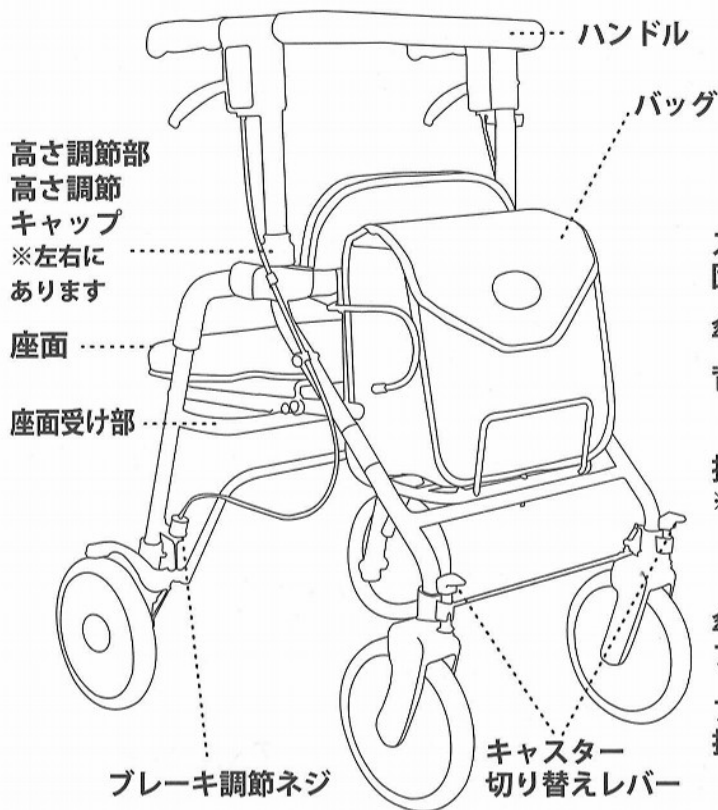
- 各自治体の指示に従って処分・廃棄してください。



# 各部の名称

まえ

うしろ



使用時サイズ	約 H79.5~88.5×W51.5×D62cm		
収納時サイズ	約 H85×W51.5×D38cm	座面サイズ	W36×D29cm
バッグサイズ	H26×W12×D23cm	座面高さ	H43cm
バッグ載荷重	3kg	ハンドル高さ調節	4段階 3cm ピッチ
最大使用者体重	75.0kg	重量	約 6.4kg

## 車体の組立て(ひろげ)方

**1** 片手でハンドルを持ちながら、折りたたみレバーを下図のように矢印の方向に倒し、左右の座面受け部にあたるまで下ろしてください。

**2** (押す場合) 矢印の向きに座面のみを起こした状態で使用してください。

**3** (座る場合) 座面パイプが座面受け部に載っている事を確認して下さい。また、両後輪に駐车用ストッパがかかっている状態であることを確認して下さい。

**注** ●片手でハンドルを持ちながら操作しないと車体が転倒する恐れがあります。  
●指をはさまないように注意してください。



折りたたみレバー



**注** ●座面を下ろした状態で押さないでください。



座面

**注** ●ブレーキワイヤーが引っかからないように注意してください。  
●指をはさまないように注意してください。

## 車体の折りたたみ方

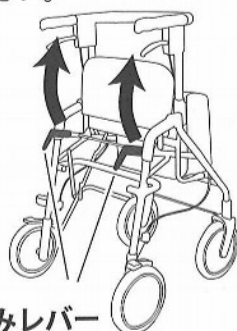
1 折りたたむときは、座面を起し、歩行使用時の状態にします。



2 片手でハンドルを持ちながら、座面下にある折りたたみレバーを上向きに引き上げてください。

**注**

- 片手でハンドルを持ちながら操作しないと車体が転倒する恐れがあります。
- 指をはさまないように注意してください。



3 両後輪に駐車用ストoppaがかかっていて動かない状態であることを確認してください。

**注**

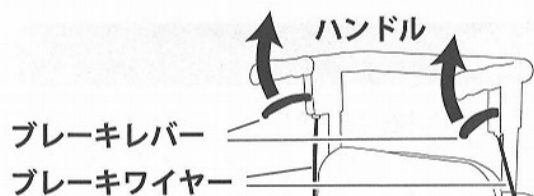
- ブレーキワイヤーが引っかからないように注意してください。
- ※ブレーキワイヤーが折れ曲るとブレーキの効きが悪くなります。



## ハンドブレーキの操作方法

### ハンドブレーキ

左右のブレーキレバーをにぎれば、左右の両後輪にブレーキがかかります。



**注**

- ハンドブレーキを使用するときは、左右のブレーキレバーを同時に掛けてください。片方だけかけると反対側の車輪だけが旋回し、車体が転倒する恐れがありますので十分注意してください。
- ハンドルとブレーキレバーの間に指を入れたまま操作しないでください。

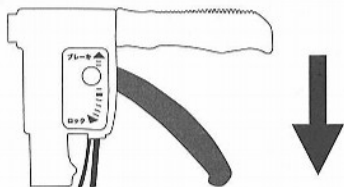
- ブレーキは構造上、自動車のブレーキのようには効かないので過信しないでください。
- ブレーキワイヤーが折れ曲がったりした場合、ブレーキがききにくくなりますのでブレーキワイヤーの交換を依頼してください。

## 駐車用ストoppaの操作方法

①ブレーキレバーでロックする

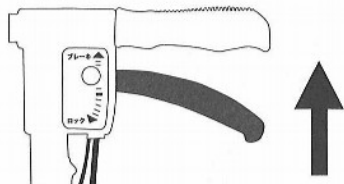
### 止まる

ブレーキレバーを下げると、後輪に駐車用ストoppaが掛かります。



### 動く

ブレーキレバーを上げると、駐車用ストoppaが解除されます。



②車体を組立てた状態で座面を下ろす

### 止まる

座面を下ろすと、両後輪に駐車用ストoppaが掛かります。



### 動く

座面を上げると、両後輪の駐車用ストoppaが解除されます。



③車体を折りたたむ

### 止まる

車体を折りたたむと、両後輪に駐車用ストoppaが掛かります。



**注**

- 車体からはなれる場合や座る場合は、必ず駐車用ストoppaを掛けてください。
- ブレーキレバーで駐車用ストoppaのロックを解除する時はハンドルとブレーキレバーの間に指を

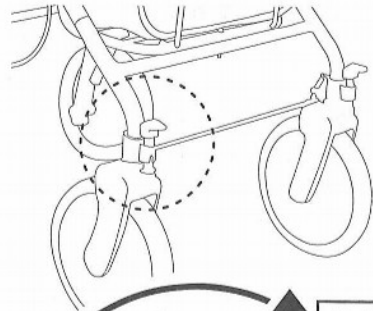
入れたまま操作をしないでください。またブレーキレバーのはね返りで怪我をする恐れがあります。

- 構造上、自動車のブレーキのような停止効果はありませんので、坂道

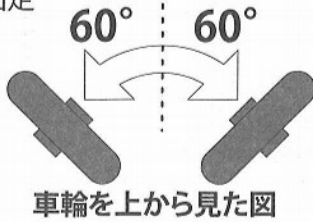
などでは腰掛けしないでください。

- 駐車用ストoppaのかかった状態（後輪がロックされた状態・座面を下ろした状態）で車体を押さないでください。

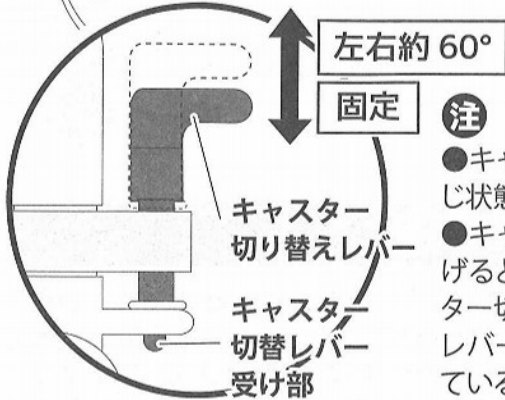
## キャスターの操作方法



前輪のキャスター切り替えレバーを上げると、左右約 60°の角度で車輪が回転し、方向転換できます。また、キャスター切り替えレバーを下げると車輪の回転が固定されます。



車輪を上から見た図

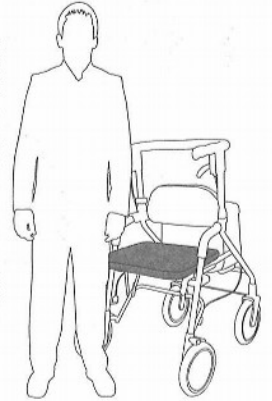


**注**

- キャスター切替レバーが左右同じ状態かを確認してください。
- キャスター切り替えレバーを下げるときは、左図のようにキャスター切替レバーがキャスター切替レバーの受け部にきちんとはまっていることを確認してください。

## 腰掛け方法

腰掛けるときは、右図のように座面を下ろして駐車用ストッパのかかった状態で、座面全体に均等に体重が加わるよう、ゆっくりと座面の中央部にお座りください。

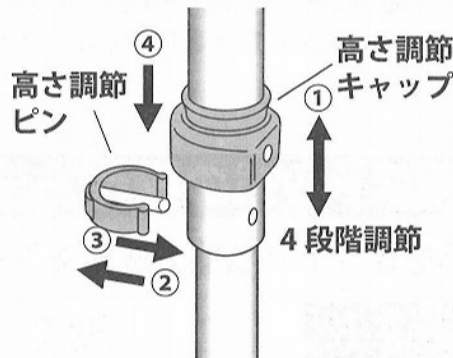
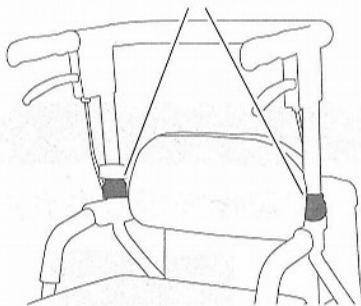


**注**

- 浅く座ったり、背もたれに力をかけすぎた場合、車体が動いてバランスがくずれの恐れがあります。
- 最大使用者体重は 75kg です。体重が 75kg を超えられる方はご使用になれません。
- 坂道などの斜面では座らないでください。

## ハンドルの高さ調節

高さ調節キャップ

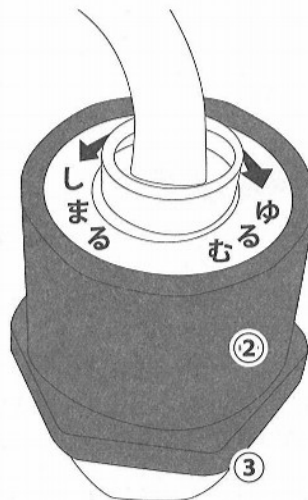
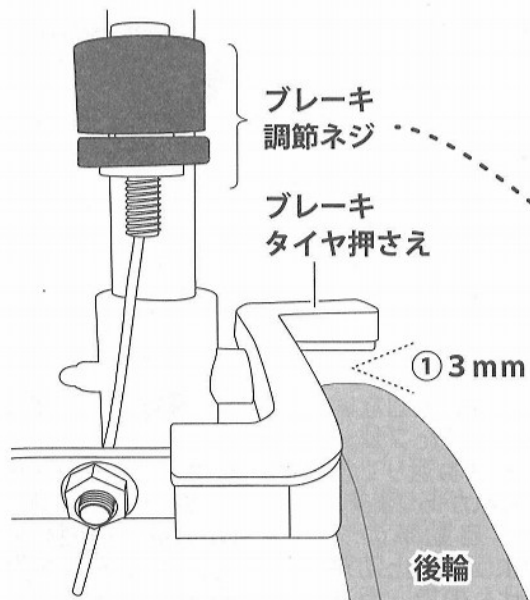


- ① 左右の高さ調節キャップを上げてください。
- ② 高さ調節ピンを抜いてください。
- ③ 全 4 段階からお好みの高さに合わせて、左右の高さ調節ピンをしっかりはめ込んでください。
- ④ 左右の高さ調節キャップを元の位置に戻してください。

**注**

- 左右同じ高さであることを確認して固定してください。

## ブレーキの調整方法



ブレーキの調整は①(後輪とブレーキタイヤ押さえの間)が 3mm くらいになるように調整します。

〈タイヤなどがすり減ってきた時ブレーキをきつくする〉

③をゆるめてから、②を「しめる」方向に回して調整し、再度③をしめてください。

〈一度きつくしたブレーキをゆるくする〉

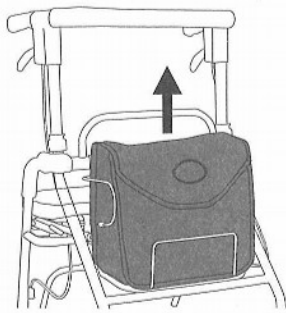
③をゆるめ、②を「ゆるむ」方向に回して調整してください。調整が終わったら③をしめてください。

**注**

- 調整が終わったら、左右のブレーキレバーを同時に握り、ブレーキの動作を確認してください。



## バッグ取り外し方法

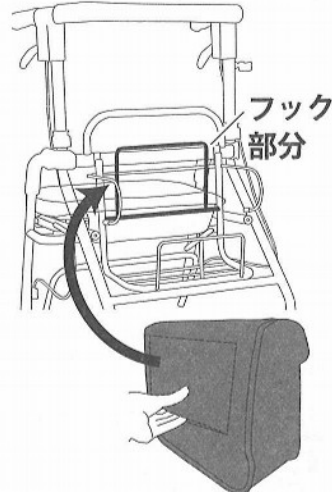


### (取り外す時)

バッグを車体に対して垂直にそっと持ち上げてください。

### 注

●バッグを取り外すときは車体に対して垂直にそっと持ち上げないと、車体が転倒する恐れがあります。



### (取り付ける時)

バッグ受け部にある上図のフック部分へバッグの背面にあるポケットを差し込みます。

## 傘・ステッキの固定方法

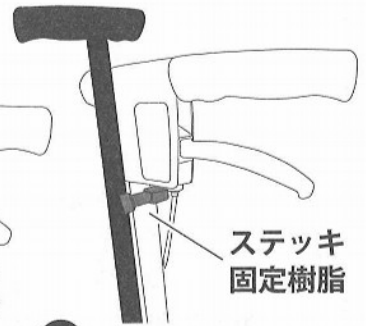
〈傘〉 傘止めバンドに巻きつけ、傘受けブラケットで受けてください。

〈ステッキ〉 ステッキ固定ドに巻きつけ、傘樹脂にしっかりとめ込み、傘受けブラケットで受けてください。



傘止めバンド

傘受けブラケット



ステッキ固定樹脂

### 注

●固定できるステッキ外径は、ステッキ固定箇所が 16 ~ 19mm のものに限りです。固定できない場合は傘止めバンドをご使用ください。

## 長く安全にご使用いただくために

長く安全にご使用いただくために、定期的な安全点検をおすすめいたします。安全点検チェックリストに沿って、日常のお手入れとあわせて行い、必要に応じて修理・交換してください。

### 安全点検チェックリスト

チェック項目	対処方法
<input type="checkbox"/> ハンドルのグラつきはないか	高さ調節部の高さ調節ピンが穴にきちんとセットされているか確認してください。
<input type="checkbox"/> 駐車用ストッパは左右きちんと掛かるか <input type="checkbox"/> タイヤはすり減っていないか <input type="checkbox"/> ブレーキタイヤ押さえはすり減っていないか <input type="checkbox"/> ブレーキワイヤーに折れ・曲がりはないか <input type="checkbox"/> 各部のネジに緩みなどはないか <input type="checkbox"/> 連結部にサビなどはないか <input type="checkbox"/> ハンドブレーキは左右きちんと掛かるか	<b>当社サービス係へ</b>  ブレーキ調節ネジでブレーキを調整してください。(本取扱説明書 5 ページ参照)
<input type="checkbox"/> キャスターに土や砂などの混入はないか <input type="checkbox"/> 車輪のきしみ・グラつきはないか	キャスター(前輪)を手で回転させて、土や砂を落としてから、回転軸のすきまに油を差してください。注油後に、キャスター(前輪)の回転操作を 2~3 回くりかえしてください。

安全点検チェックリストのチェック項目に該当するものがあつた場合は、対処方法を参照して対処してください。それでも改善されない場合は、必ず当社の点検・修理を受けてください。また、その他の破損や異常が発生・発見された場合は、必ず当社の点検・修理を受けてください。当社サービス係が製品の修理または部品の交換を行います。

必ず、ご購入販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめの上、お受け取りください。保証書の内容をよくお読みの上、大切に保管してください。なお保証書の再発行はいたしません。

# 保証書

## 保証基準

- この商品の保証期間はご購入の日より1年間です。  
(必ずご購入年月日、ご購入販売店名をご記入ください)
- 保証期間内においては、パーツの欠品、不良加工等、弊社の責任に依るものは無償修理いたしますが、使用者の責任に依るものは実費修理とさせていただきます。
- 次の項目は無償サービスから除外させていただきます。
  - フレームの自然劣化  
(メッキや塗装は時々お手入れを必要とします。)
  - バッグのキズや破れ。
  - 間違った使い方や手入れ不良に依るもの。
  - 車輪の自然消耗。
  - 使用者の造作変更に依るもの。
  - 災害・事故等に依るもの。
  - 実費修理に要する運賃等の諸経費。
  - 保証書を紛失された場合。
- 一度使用したものは、原則として製品のお取り替えはできません。
- 製品についての各種お問い合わせは、ご購入販売店または当社に直接ご連絡ください。
- 製品についての保証は、日本国内のみとさせていただきます。

### ●品質保証期間は、ご購入の日より1年間です。

ご購入の日より1ヵ年を超えた製品についての品質・安全保証の対象外となりますのでご了承ください。  
製造中止後の製品については必要部品がなくなった場合、修理できないこともあります。

#### <個人情報の取扱いについて>

- 保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用します。  
なお、本欄にてお預かりするお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。

●ご購入年月日	平成	年	月	日
●ご購入販売店名				
ご購入販売店住所 (〒            -            )				
TEL (            )            -				

- 印欄に記入のない場合は保証内容が無効となりますので必ず記入の有無をご確認ください。記入のない場合は直ちにご購入販売店にお申し出ください。なお、通信販売またはインターネット販売でご購入された方は送り状の控えと伝票を添えていただけます。

※製品改良のため仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください



株式会社 **アイルリンク**

〒700-0971 岡山市北区野田 3-16-1 下電開発ビル 2F  
TEL 086-238-1517 (本社)  
086-805-4550 (レンタル事業部)



説明書



外装